

JVC

B5A-3345-40

前後撮影対応2カメラドライブレコーダー

GC-TR100

取扱説明書

保証書付き

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。



注意

取付・配線作業は専門技術が必要な場合があります。安全のため専門技術者に依頼されることをおすすめします。

本機の取り付けについての参考情報やサポート情報を、JVCケンウッドのホームページでご案内しています。
<http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/dr.html>



免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



ユーザー登録
について

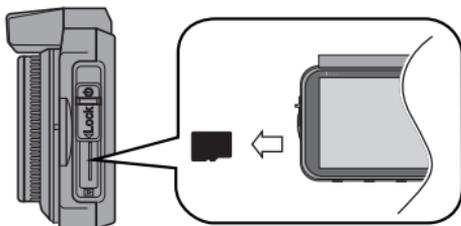
製品のサポート情報、ソフトウェアのアップデート情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。ぜひご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



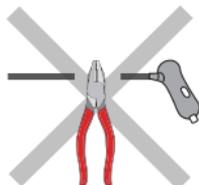
もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにして、microSDカードを取り出してください。



microSDカードを押し少し飛び出たら引き抜きます。

電源コードを切らない



付属の電源コードを切って電源を供給するなどの改造は絶対におやめください。交通事故や火災・製品故障の原因となります。

付属の電源コードはシガーソケット、またはアクセサリースocketの電圧(12V/24V)を5Vに変換してドライブレコーダーに供給しています。

日時の設定について

本機はGPS機能を搭載しており、日時を自動で設定します。はじめて使われるときや、長期間使用しなかったときは日時の設定が初期値にリセットされます。

GPSの電波が受信できる場所で1分程度電源をオンにすると日時が設定されます。

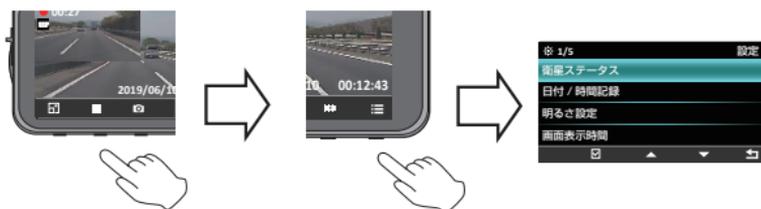
日時が設定されるまでに記録されたファイルは、リセットされた日時になることをご了承ください。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードは最初に使用するとき、以降は2週間に一度を目安にフォーマットしてください。

※残す必要がある録画ファイルがあるときは、事前にファイルをパソコンに保存してください。

1 停止ボタンを押し、メニューボタンを押す



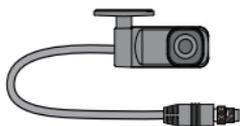
2 メニューの項目から「SDカードフォーマット」を選ぶ



3 「OK」を選択して確定ボタンを押す



付属品について



リアカメラ



シガープラグコード
(約 3.5m)



リアカメラ用ケーブル
(約 8m)



取付ブラケット



microSDHC カード
(高耐久 16GB)



取扱説明書 (本書)



「録画中」ステッカー

※ 「録画中」ステッカーは保安基準に適合する位置に貼り付けてください。

本機をご使用になる前に

「本機のセットアップ」(→P.18)をお読みになり、セットアップを行ってください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意 (しなければならない)の内容です。
	禁止 (してはいけない)の内容です。
	実行 (かならず行っていただく)の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。



必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。付属の電源コードはシガーソケット、またはアクセサリソケットの電圧（12V/24V）を5Vに変換してドライブレコーダーに供給しています。

ネジなど小物部品やmicroSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

専用の電源コードを使用する

付属の電源コードまたは別売の常時電源コード以外を使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、シガープラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。



シガープラグは定期的に清掃する
ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。

注意



本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたり使用を中止する
機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

ご使用について

- 本機は車両の走行状態を記録するための機器です。
- 本機はあらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。
- 本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画したmicroSDカードの映像を本機で再生し、最新ファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→P.32)
- 本機の電源がオンになったときに、エラーが表示されていないか必ず確認してください。
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のガラスにコーティング剤が使用されている場合、録画品質に影響することがあります。
- 本機が正常に動作しない場合は、電源をオンの状態で左側面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押してください。本機が再起動します。
- 信号機の種類および撮影時の状況により、点灯している信号機が点滅しているように記録されることがあります。

運転支援機能について

- 本製品の運転支援機能はあくまでドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を警報するものではありません。GPS信号が受信できない場合は運転支援機能の一部は動作しません。本製品を使用中に事故が発生した場合でも、運転支援機能の動作有無、使用者の事情に関わらず、当社は一切の責任を負いません。

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「本機の取り付け／配線」を参照して、正しく取り付けてください。(→P.18)

電源について

- 本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属の電源コードまたは別売の車載電源ケーブル(CU-BC100)を接続してください。コードの改造(車両の電源に直接つなぐ)などは絶対に行わないでください。
- 車両の電源をオフにしてもアクセサリソケット(シガーソケット)が通電状態になっている車種の場合は、車両を離れるときにシガープラグを抜いてください。
- 付属の電源コードは本機(GC-TR100)専用です。その他の機器を接続しないでください。
- 車種によって、エンジンキーをオフにしても、本機の電源がすぐにオフにならないことがあります。故障ではありません。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスなどの柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ご使用の前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、本機の固定の緩みなどが無いことを確認してからご使用ください。

本体色等について

- 部品の特性上、生産時期により色や素材の質感が異なる場合があります。
- 直射日光やご使用環境等の影響により、本体色に変化する場合があります。

本機で撮影した映像について

- microSDカードの空き容量が少なくなった場合、古いファイルから順番に映像が上書きされます。また、microSDカードの寿命などによって、ファイルが読み出せなくなることがあります。必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存(コピー)してください。ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機で撮影された映像には個人を特定できる情報が含まれている可能性があります。映像のインターネットなどでの公開は第三者のプライバシー権や肖像権の侵害となったり、個人情報保護法へ抵触する場合がありますので、十分にお取り扱いにお気をつけください。また、お客様自身の個人情報の漏洩にもお気をつけください。

著作権について

- 個人が楽しむ場合であっても、撮影等の場所または撮影等の対象などの権利者に無断で録画・撮影・録音することはできない場合があります。
- 録画・撮影・録音することが撮影等の場所または撮影等の対象などの権利者によって許可されていても、個人で楽しむ視聴以外の利用が許可されていない場合があります。

microSDカードについて

本機で使用するmicroSDカード

- 本機でお使いいただけるのは下記のmicroSDカードです。

タイプ	microSDHC
容量	16GB ~ 32GB
スピードクラス	Class 10

- 記録時間の目安(通常録画・イベント記録・駐車録画の合計)

16GB	約 1 時間 20 分
32GB	約 2 時間 40 分

※イベント記録と駐車録画のファイル数が増えると、通常録画に使える容量が少なくなります。不要なファイルはこまめに削除することをおすすめします。

- 高耐久タイプ(MLC/pSLC/SLC)のmicroSDカードをご使用ください。
※動作確認済みmicroSDカード:
KENWOOD KNA-SD16A/KNA-SD32A
http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/sd/
- 付属品および上記の動作確認済みmicroSDカード以外のmicroSDカードとの相性による動作不具合については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、microSDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。

microSDカード使用上のご注意

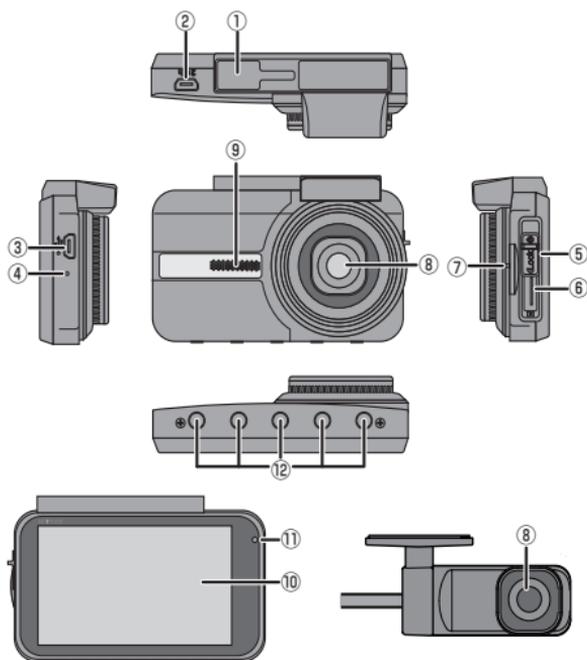
- microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新品に交換することをお勧めします。
- microSDカードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- microSDカードは本機でフォーマットしてください。他の機器でフォーマットしたmicroSDカードを使用すると、本機は正常に動作しないことがあります。
- 本機でフォーマットできないmicroSDカードは使用できません。
- microSDカードの上に物を置いたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- microSDカードを保管する場合は、清潔で乾燥した場所に保管してください。また、直射日光があたる所など高温の場所に保管しないでください。
- microSDカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。

もくじ

付属品について	4
安全上のご注意	5
使用上のご注意	11
microSD カードについて	13
各部の名称とはたらき	15
画面のアイコン表示について	16
本機のセットアップ	
Step 1: 本体の取り付け	18
Step 2: リアカメラの取り付け	20
Step 3: リアカメラの配線	22
Step 4: 本体の配線	23
Step 5: microSD カードを挿入する	25
Step 6: 取り付け角度を調整する	26
本機の録画機能について	
機能1: 常時録画 (連続録画)	28
機能2: イベント記録	29
機能3: 駐車録画	30
機能4: 写真撮影	31
録画ファイルを再生する	32
パソコンに保存する	34
設定を変更する	
メニューを表示する	35
運転支援機能を使う	37
主な仕様	38
その他	39
故障かな?と思ったら	41
保証とアフターサービス	44

各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



①取付ブラケット挿入部

②リアカメラ端子

③電源端子(DC5V)

付属の電源コードを接続します。

④リセットボタン

⑤電源スイッチ

⑥microSDカードスロット

付属のmicroSDカードを挿入します。

⑦マイク

録画中の音声を収録します。

⑧カメラレンズ

⑨スピーカー

⑩液晶画面

⑪インジケータ

緑点灯:録画中

アンバー点灯:

録画停止中/スイッチオフ(通電中)

⑫操作ボタン

画面のアイコンで機能を表示します。

電源定格および型名・製造番号が本機の上面に記載されています。

画面のアイコン表示について



No.	アイコン	説明
①		録画中はアイコン（●）が点灯します。 1 ファイルの記録時間を表示します。 録画停止中はSDカードの空き容量に記録できる時間を表示します。イベント記録以外は空き容量がなくなると上書きして記録します。
②		音声記録の状態
③		GPS の受信状態
④	—	イベント記録中に表示します。
⑤	—	現在の日付
⑥	—	現在の時刻
⑦	—	操作ボタン（以下で説明します）

操作ボタン

ボタン	録画中の動作
	カメラ映像切替え リア子画面→フロント子画面→フロントのみ→リアのみ→リア子画面
	録画停止
	静止画撮影
	速度・方位表示（→P.17）
	イベント記録開始

ボタン	録画停止中の動作
	カメラ映像切替え
	通常録画開始
	音声記録オン/オフ
	再生モード
	設定メニュー

ボタン	再生・設定メニュー表示中の動作
	確定
	上または左にすすむ
	下または右にすすむ
	戻る

速度・方位表示について

録画中に📍を押すと、速度・方位表示になります。



- GPS によって速度を検出していますので、車両のスピードメーターの速度表示とは若干違いがあります。

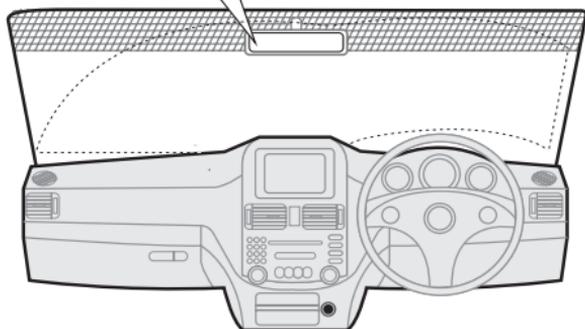
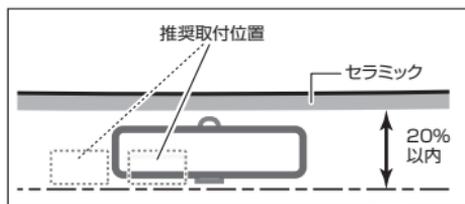
本機のセットアップ

取付・配線作業は専門技術が必要な場合があります。
安全のため専門技術者に依頼されることをおすすめします。

Step 1: 本体の取り付け

フロントガラスの上部20%の範囲内で、運転者の前方視界を妨げない位置に取り付けてください。

- 助手席側のルームミラー付近がおすすめです。

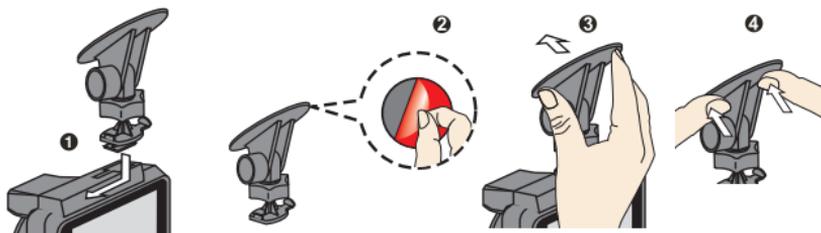


- 国土交通省の定める保安基準に適合するように取り付けてください。
- 取り付けの位置を以下の点に注意して決めてください。
 - ワイパーのふき取り範囲に入る位置
 - ルームミラーの操作の妨げにならない位置
 - サンバイザーの操作の妨げにならない位置
 - 車検シールに重ならない位置
- 運転支援システム等を装備した車両に本機を取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して車両装備の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 本体をテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やノイズの原因になることがあります。

1 取り付ける位置の汚れや脂分を取り除く

- ・ クリーナー等を使用したときは表面を乾いた布でしっかりと拭き取ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。

2 以下の手順で本体をしっかりと取り付ける



- ①本体にブラケットを取り付ける
 - ②ブラケットの両面テープの裏紙をはがす
 - ③ブラケットを押さえて取り付け位置に貼り付ける
 - ④接着面に気泡が残らないように押しつける
- ・ 貼り付け後に貼りなおすことはできません。十分に貼り付け位置を確認して貼り付けてください。
 - ・ 粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

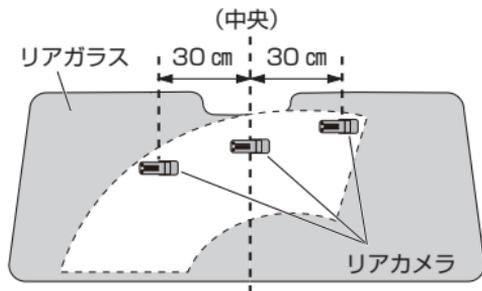
Step 2: リアカメラの取り付け

リアガラスの中央部に後ろ向きで水平にして直接取り付けます。

リアガラスの中央部に部品がある場合、下げた位置または中央部から左右 30cm 幅以内の範囲に取り付けてください。

リアワイパーがある場合は、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

取り付けイメージ



- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性がありますので注意してください。
- 本機をテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やノイズの原因になることがあります。テレビアンテナから30cm以上離してください。
- 配線がラジオアンテナに近いとき、ラジオの受信感度の低下やノイズが発生することがあります。その場合はラジオアンテナから離れるように配線してください。
- 熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けないでください。両面テープを剥がす際、熱線を破損させる恐れがあります。取付ブラケットに貼られている両面テープは熱線を避けるように隙間を設けています。
- リアカメラを上下逆(JVCマークが逆)に付けた場合は、設定メニューの「リアカメラ画像反転」をオンにしてください(→P.36)

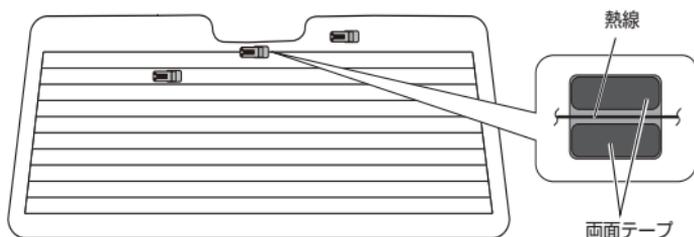
1 取り付ける位置の汚れや脂分を取り除く

- ・ クリーナー等を使用したときは表面を乾いた布でしっかりと拭き取ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。

2 以下の手順で本機をしっかりと取り付ける



- ① ブラケットの両面テープの裏紙をはがす
 - ② ブラケットを押さえて取り付け位置に貼り付ける
 - ③ 接着面に気泡が残らないように押しつける
- ・ 貼り付け後に貼りなおすことはできません。十分に貼り付け位置を確認して貼り付けてください。
 - ・ 粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

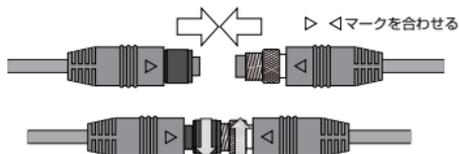


- ・ 取付ブラケットの両面テープが熱線に重ならないことを確認してください。

Step 3: リアカメラの配線

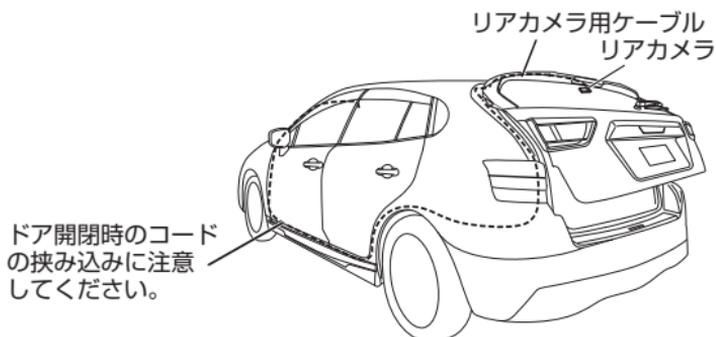
1 リアカメラ用ケーブルを接続する

- リアカメラのコネクターにリアカメラ用ケーブルを接続して、コネクターのリングを回して固定します。



2 リアカメラ用ケーブルを配線する

- 以下の図は配線の一例です。

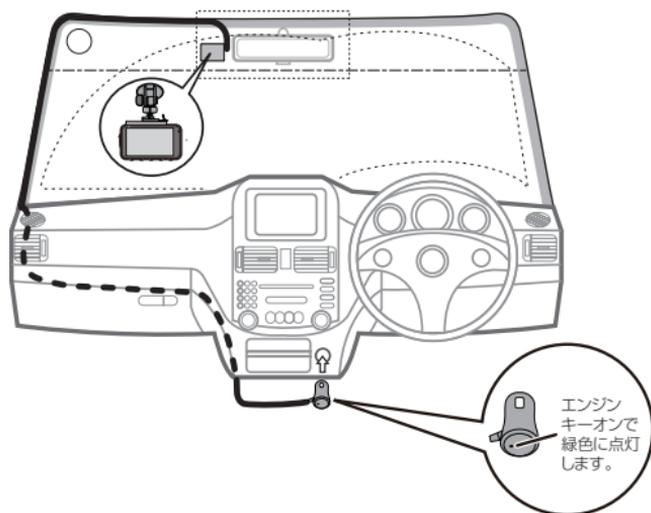


- リアカメラ用ケーブルを下記の点に注意して配線してください。
 - ドア開閉時にリアカメラ用ケーブルの挟み込みがないように注意してください。
 - リアカメラ用ケーブルは、運転操作や運転者の視界の妨げにならないようにソフトテープ等でまとめてください。
 - リアカメラ用ケーブルが搭乗者の体に引っかからないように配線してください。
 - リアカメラ用ケーブルとエアバッグが干渉しないように配線してください。
 - リアカメラ用ケーブルがシートレールの可動部にかからないように配線してください。
 - リアカメラ用ケーブルは発熱部を避けて配線してください。

Step 4: 本体の配線

1 電源コードを配線する

- 以下の図は配線の一例です。



- アクセサリーソケット(またはシガーライターソケット)の場所がわからない場合は車両の取扱説明書でご確認ください。
- 電源コードを下記の点に注意して配線してください。
 - 電源コードは、運転操作や運転者の視界の妨げにならないように市販のコードクリップでまとめてください。
 - 電源コードとエアバッグが干渉しないように配線してください。
 - 電源コードをフロントピラーに通す場合、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となることがあります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- 本機を取り付け後、車両電装品が正常に動くか必ず動作確認を行ってください。

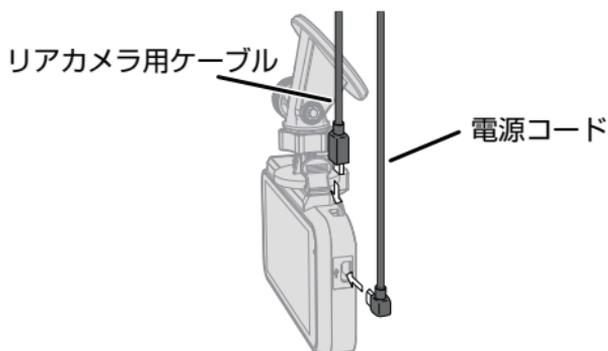
別売の車載電源ケーブル CU-BC100（別売）を使う場合

接続をする前に車載電源ケーブル CU-BC100（別売）に付属の取扱説明書をよくお読みになり、「スイッチ設定」を行ってください。

- ・ 駐車録画を使うときは設定メニューで「駐車モード」を「オン」にしてください。（→P.36）

2 電源とリアカメラを接続する

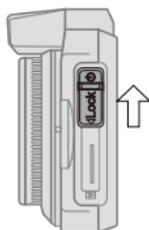
- ・ 以下の図のように接続します。



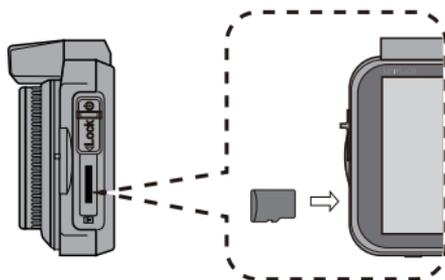
Step 5: microSD カードを挿入する

- microSDカードは、電源オフのときに出し入れて下さい。
電源がオンのときはカードの出し入れはできません。
- microSDカードを取り出すときは、microSDカードを指先で押し
てmicroSDカードが少し飛び出たら引き抜きます。

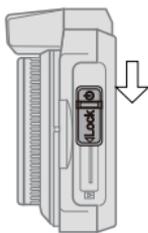
1 電源オフにする



2 microSDカードを本機に挿入する



3 電源をオンにする



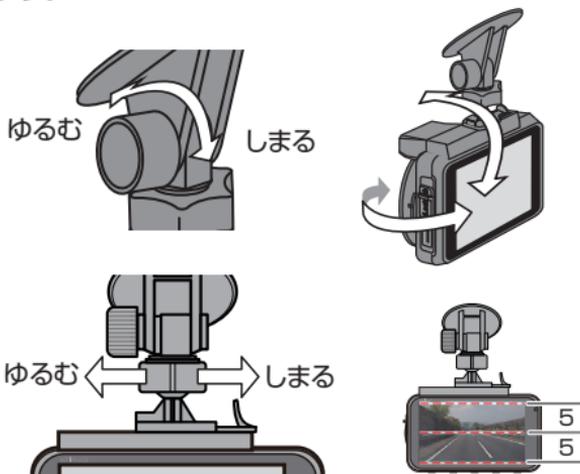
4 microSDカードをフォーマットする

- microSDカードは最初に使用するとき、以降は2週間に一度を目安にフォーマットしてください。操作については「microSDカードをフォーマットする」(→P.3)をご覧ください。

Step 6: 取り付け角度を調整する

1 本体の角度を調整する

- 液晶画面の映像を確認しながら、地面が水平で、地上と空の比率が約5対5となるように調整してください。
- チルト機構で角度をおおまかに調整し、ボールジョイントで微調整します。

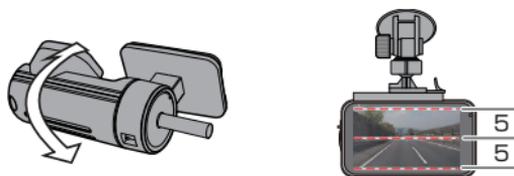


- 運転支援機能(→P.37)の「車線逸脱警告」または「前面衝突警告」をお使いになるときは、機能をオンにして、マーカが車線と一致するように取り付け角度を調整してください。
- 取り付け角度を調整するときは、車両を見通しの良い安全な場所に停車しておこなってください。



2 リアカメラの角度を調整する

- 液晶画面の映像を確認しながら、地面が水平で、地上と空の比率が約 5 対 5 となるように調整してください。
- 「カメラ映像切替え」(→ P.16) で本体カメラとリアカメラの映像を切り替えることができます。



本機の録画機能について

本機の録画機能は 4 つあります。

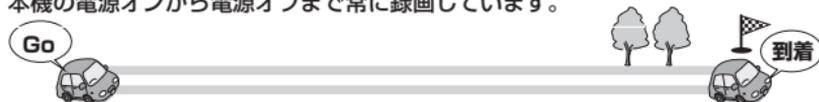
電源がオンになると常時録画(機能1)を開始します。

また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録(機能2)を行います。

機能1:常時録画(連続録画)

走行中の映像を常に録画します

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



エンジンキーをオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画(連続録画)が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。



- 常時録画ファイルは「Video」フォルダ(→P.34)に保存されます。
- 1つのファイルの録画時間は1分です。
- microSD カードの空き容量が不足した場合、録画ファイルは古いファイルから自動で上書きされます。

機能2: イベント記録

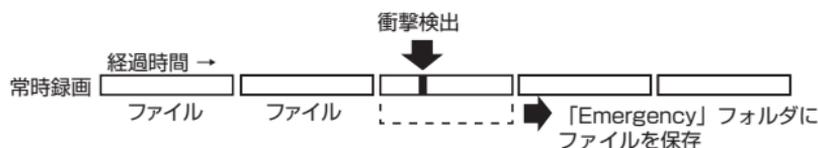
走行中に衝撃を検出したら録画します

本機が衝撃を検知すると、常時録画からイベント記録に切り替わり、記録中のファイルを「Emergency」フォルダに保存します。

- 衝撃検知が録画開始から10秒以内の場合は、衝撃検知したときのファイルと一つ前のファイルをイベント記録ファイルとします。
- 衝撃検知が録画終了前の10秒以内の場合は、衝撃検知したときのファイルと次のファイルをイベント記録ファイルとします。



常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検出してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。



- 記録回数が10回になるとイベント記録ができなくなります。ファイルの削除やSDカードのフォーマットを行ってください。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。(→P.36)
- イベント記録ファイルは「Emergency」フォルダ(→P.34)に保存されます。
- 1つのファイルの録画時間は1分です。
- イベント記録中に停止ボタン(→P.16)を押すとイベント記録を中断できます。この場合、常時録画も停止しますので、再度ボタンを押して常時録画を開始します。
- イベント記録開始ボタン(→P.16)を押すと、衝撃検知をしなくてもイベント記録ができます。ただし記録回数が10回になると衝撃検知によるイベント記録もできなくなりますので、ご注意ください。

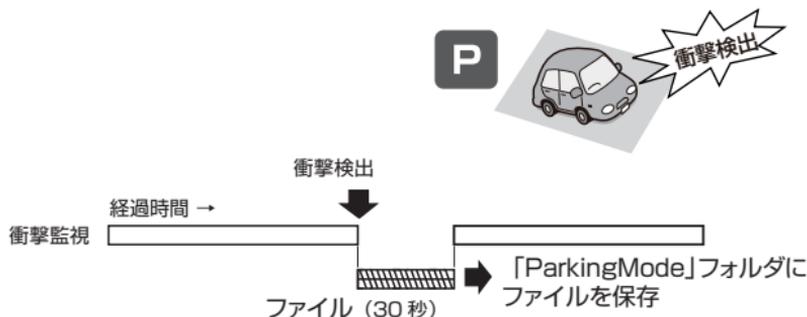
機能3: 駐車録画

駐車中に衝撃を検出したら録画します

- 駐車録画は別売の車載電源ケーブル(→P.24)が必要です。
- 駐車録画を使うときは設定メニューで「駐車モード」を「オン」にしてください。(→P.36)

駐車録画

エンジンキーをオフにしてから3分後に駐車モードになります。衝撃を検知すると録画を開始します。

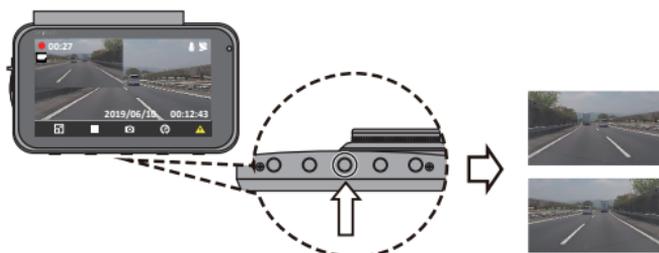


- 駐車監視中は液晶画面が消灯して、アンバーのインジケーターが点灯します。録画を開始すると緑のインジケーターが点灯します。
- いずれかのボタンを押すと、液晶画面が表示されて駐車監視中であることを確認できます。
- 電源スイッチがオフのときもアンバーのインジケーターが点灯しますが、駐車録画はできません。電源スイッチをオンにしてお使いください。
- 録画ファイルは「ParkingMode」フォルダ(→P.34)に保存されます。
- 1つのファイルの録画時間は30秒です。
- 駐車録画の回数は20回が上限です。それ以降は古いファイルから自動で上書きされます。
- 衝撃を検出してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- ドアを閉めたときの振動を検出して駐車録画が開始することがあります。
- 駐車録画中に衝撃を検知しても録画時間は延長されません。

機能4:写真撮影

表示している映像を写真として保存することができます

通常録画中またはイベント記録中に静止画撮影ボタンを押します。



- 写真ファイルは「Photo」フォルダ(→P.34)に保存されます。
- 写真ファイルは上書きされません。
- 録画停止中、駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイル再生中は写真を撮影することはできません。

録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルを本機で再生します。

1 録画を停止してから再生ボタンを押す



再生インデックス画面を表示します。

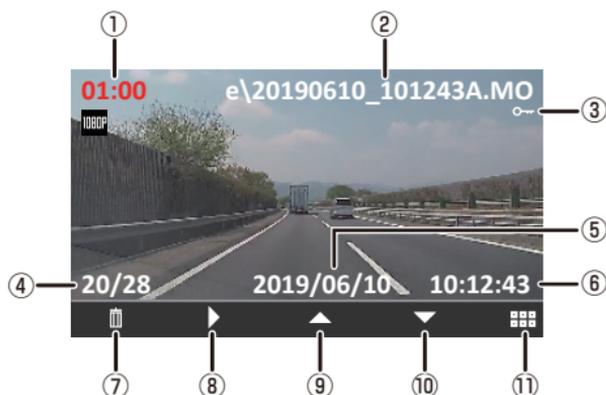
2 再生するファイルを選択する

▲または▼でファイルを選択して⏏で確定します。



- 動画ファイルは🎬、写真ファイルは📷のアイコンが表示されます。
- イベント記録と駐車録画のファイルには○➡マークが付きます。
- 再生インデックス画面表示中30秒間操作がないときは、自動で録画を開始します。

再生画面での操作



No.	アイコン	説明
①	—	ファイルの残り再生時間
②	—	ファイル名 (→P.34) ・ イベント記録および駐車録画のファイルは「e」 と表示されます。
③		ファイルがロック状態であることを表します。 ・ イベント記録と駐車録画のファイルはロックさ れています。
④	—	ファイルの番号／全体のファイル数を表示します。
⑤	—	記録開始の日付 (再生中は変わりません)
⑥	—	記録開始の時刻 (再生中は変わりません)
⑦		ファイルの削除 ・ ロックされているファイルはロック解除してか ら削除します。
⑧		再生
⑨		前のファイル (古い)
⑩		次のファイル (新しい)
⑪		インデックス表示に戻る

パソコンに保存する

市販のカードアダプターに microSD カードを装着して、記録したファイルをパソコンで読み取ることができます。

保存するファイルを選んで、パソコンのフォルダにコピーしてください。



20190730_100930A.MOV

年 月 日 時 分 秒 MOV: 動画
JPG: 静止画
A: 本体カメラ
B: リアカメラ

- 本機の動画ファイルは拡張子「MOV」のMPEG-4形式で、一般的な動画再生ソフトで再生が可能です。
※すべてのパソコン環境での正常な再生を保証するものではありません。
- パソコンでファイルを削除や書き換えを行ったmicroSDカードをそのまま使用すると、本機が正常に動作しないことがあります。誤ってファイル操作をした場合は、本機でフォーマットしてからお使いください。

設定を変更する

メニューを表示する

1 停止ボタンを押し、メニューボタンを押す



2 メニューの項目を選んで確定ボタンを押す



- メニュー表示中 30 秒間操作がないときは、自動で録画を開始します。

項目	設定	機能説明
衛星ステータス	—	衛星の電波の受信状態を表示します。
日付 / 時間記録	オン* オフ	映像に日時・緯度経度を記録するかどうかを設定します。
明るさ設定	(+0.0) *	記録する映像の明るさ(EV)を設定します。 -2.0~+2.0の範囲で設定できます。
画面表示時間	常時表示* 1分 3分 5分	録画中の画面表示時間を設定します。 液晶画面消灯中にいずれかのボタンを押すと、液晶画面が表示されます。 メニュー表示中や再生中は常時表示になります。

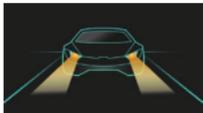
* お買い上げ時の設定

項目	設定	機能説明
音声記録	オン* オフ	動画にマイク音声を記録するかどうかを設定します。
音量	(60%) *	操作時の効果音や警告音、再生の音量を設定します。 オフ~100%の範囲で設定できます。
衝撃検出感度	オフ 低 中* 高	イベント記録の衝撃検出の感度を設定します。低（衝撃検出をしにくくする）⇔ 高（衝撃検出をしやすくする）
車線逸脱警告	オフ* セダン等 SUV/ ミニバン等	「運転支援機能を使う」(→P.37) でご説明します。
前方衝突警告	オフ* オン	
リフレッシュ通知	オフ* 1時間 2時間 3時間	
速度警告	(オフ) *	
ヘッドライト点け忘れ警告	オフ* オン	
駐車モード	オフ* オン	駐車モードを設定します。 この設定は別売の車載電源ケーブル(→P.24)を接続したときに有効になります。
リアカメラ画像反転	オフ* オン	リアカメラを上下逆に取り付けたときにオンにします。鏡像(ミラー)にはなりません。
SD カードフォーマット	—	microSD カードをフォーマットします。
初期値に戻す	—	メニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。
ファームウェア更新	—	ファームウェア更新は JVC ケンウッドのホームページでご案内します。
ファームウェアバージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

* お買い上げ時の設定

運転支援機能を使う

本機は6つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、設定メニューで各機能の設定を有効にする必要があります。(→ P.36)

機能 / 画面表示	機能説明
車線逸脱警告 	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、警告画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none">60km/h以上で動作します。周囲の明るさ、天候、不鮮明な車線など、条件によっては正しく動作しないことがあります。車両のウインカーとは連動しませんので、車線変更時にも警告が発生します。カメラの設置高さによって「セダン等」または「SUV/ミニバン等」を選択してください。
前方衝突警告 	前车との距離が20m以下になった時に警告音を鳴らし、警告画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none">60km/h以上で動作します。前車の車種や周囲の明るさ、天候などにより正しく動作しないことがあります。
リフレッシュ通知 	録画開始から設定した時間(1時間/2時間/3時間)になると警告音を鳴らし、警告画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none">録画開始からの時間をカウントしているため、録画を中止するとカウントはリセットされます。
速度警告 	設定した速度(50~120km/h)を超えているときに警告音を鳴らし、アイコンが警告表示になります。 <ul style="list-style-type: none">GPSによって速度を検出していますので、車両のスピードメーターの速度表示とは若干違いがあります。
ヘッドライト点け忘れ警告 	トンネルや建物内の駐車場に入ったときなど、周囲が暗くなった時に警告音を鳴らし、警告画面を表示します。 <ul style="list-style-type: none">車両のヘッドライト点灯には連動しませんので、ヘッドライトが点灯していても警告が発生します。

*「車線逸脱警告」または「前方衝突警告」を使うときは、画面のマーカーが車線に一致するように角度を調整してください。(→ P.27)

主な仕様

液晶サイズ

3.0インチ フルカラーIPS液晶

撮影素子

(フロントカメラ)

SONY STARVIS 1/2.8型
213万画素 CMOS

(リアカメラ)

1/2.9型 219万画素 CMOS

レンズ

(フロントカメラ)

広角 F値1.8

(リアカメラ)

広角 F値1.8

最大記録画角

(フロントカメラ)

水平:約135度/垂直:約71度/
対角:約167度

(リアカメラ)

水平:約120度/垂直:約61度/
対角:約151度

動画フォーマット

MOV

静止画フォーマット

JPEG

フレームレート

28fps

撮影画像(最大)

1920x1080 Full HD (約
207万画素)

記録媒体

microSDHC カード
Class10
(16GB ~ 32GB)

電源電圧

DC12/24V

消費電流(最大)

約400mA(2A)

外形寸法(WxHxD)

(フロントカメラ)

90mm x 56mm x 27mm

(リアカメラ)

55.5mm x 22.5mm x
28.5mm

質量

(フロントカメラ)

約85g(ブラケット、ケーブルを
含まず)

(リアカメラ)

約34g(ブラケット、ケーブルを
含む)

動作温度範囲

-10°C ~ +60°C

付属品

リアカメラ x 1

シガープラグコード(約3.5m)
x 1

リアカメラ用ケーブル(約8m)
x 1

取付ブラケット(両面テープ)
x 1

microSDHCカード 16GB x 1
「録画中」ステッカー x 1

・これらの仕様およびデザイン
は、技術開発にともない予告な
く変更になる場合があります。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）は、ライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有します。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。本契約は、お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で、成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。この場合、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別に、お客様に対して直接使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます。「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权（第3条第1項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変し、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとします。許諾ソフトウェアは営利目的か否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权についても同様に移転することができます。但し、当該移転は、使用者の手にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件とします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者（以下、「原権利者」）に帰属するものとします。使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用权を除き、いかなる権利を有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使した結果、使用者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち、公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（輸出規制）

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第11条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする事に合意するものとします。

商標について

- microSDHC、microSDHCロゴはSD-3C LLCの商標です。
 - SONYはソニー株式会社の登録商標です。
 - STARVISはソニー株式会社の商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

故障かな?と思ったら

次の一覧や当社ホームページのFAQから該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない	電源コードの差し込み(車両側、本機側)が不十分などで、電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと本体側の差し込みを確認してください。
	電源オフ→オンをすばやく操作した	オフにしてから数秒後にオンにしてください。
録画できない データが残っていない	microSDカードが入っていない	本機で使用可能なmicroSDカードをSDスロットに挿入してください。 フォーマットについては、「microSDカードをフォーマットする」を参照してフォーマットを行ってからご使用ください。
	16~32GB以外のSDカードを挿入した	
	microSDHCに準拠していないmicroSDカードが挿入された	
	microSDカードがフォーマットされていない	
データ容量に空きがないため、古いデータが上書きされてしまった	それぞれの録画領域に空きがない場合は、撮影記録の古い順に上書きされていきます。こまめにデータをPCなどへ保存してください。	

FAQ(よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/qa/cam.html>

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
<http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/>

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
にご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル



0120-2727-87

携帯・PHSからは、ナビダイヤル



0570-010-114

一部のIP電話などフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合



045-450-8950

● 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。

月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
・日曜祝日、弊社休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

株式会社JVCケンウッドおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?と思ったら」にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源コードを取りはずして
から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ドライブレコーダー
2. 型名：GC-TR100
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理
させていただきます。

■ 保証期間が過ぎていた場合は
修理すれば使用できる場合は、ご希望により
有料修理させていただきます。

■ 保証期間内外に関わらず、修理点検のため
の製品の車両からの取り外し、または取り
付けの作業費用の負担、および作業のご依頼
は承っておりません。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その
製品の機能を維持するために必要な部品です。

なお、当社の判断で本体の交換や再生部品を使用させていただく場合があります。

次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

- (1) 本書のご提示がない場合
- (2) お買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が確認できない場合
- (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用、電源（電圧・周波数）による故障および損傷
- (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
- (7) 消耗品（バッテリーやmicroSDカードなど）が原因であった場合

サービス窓口

下記URLをご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>



